

機械設備工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

島根県鹿足郡津和野町枕瀬 8 0 6－1

2. 地域地区

(用途地域指定なし)

3. 敷地面積

1, 8 7 7. 4 2 m²

4. 建物用途

宿泊施設

5. 棟別概要

No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
1	ﾌﾞﾗｲﾊﾞｰﾄｺﾃｰｼﾞ宙辺	改修	木造一部RC造	2	5項イ	420.66	620.36
2							
3							
4							
5							
6							
7							
合 計							

6. 工事種目 (○印を付したものが該当)

	1	2	3	4	5	6	7
衛生器具設備	○						
給水設備	○						
排水設備	○						
消火設備							
ガス設備	○						
給湯設備	○						
浄化槽設備							
空気調和設備	○						
換気設備	○						
自動制御設備							
エレベーター設備							
建築工事							
電気設備							

7. 設備概要 (改修の場合は工事対象を示す。)(○印を付したものが該当)

衛生設備	給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ ポンプ直送方式	
	排水方式	○ 建物内の汚水と雑排水 (○ 合流 ・ 分流) ・ その他 ()	
	放流先	汚 水	・ 直放流下水管 ○ 浄化槽 ・ その他 ()
		雑排水	○ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ その他 ()
	排水槽	・ 有り (計画容量: m ³) ○ 無し	
	消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー	
		・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連結散水装置 ・ フード等用簡易自動消火装置	
		・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 (・ 窒素 ・)	
		・ ハロゲン化物消火 ・ 消火器 ・ 無し	
	ガス設備	・ 都市ガス 種別 (M J / m ³ N) ○ 液化石油ガス	
給湯設備	○ 有り (・ 局所式 ・ 中央式) ・ 無し		
	・ 熱源 (・ 電気 ・ 都市ガス ○ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)		
浄化槽設備	○ 有り (・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ○ 単独) ・ 無し		
空調設備	空気調和方式等	○ 空気調和 (・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ○ パッケージ方式) ・ ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	
	主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー	
		・ 温水発生機 (・ 真空式 ・ 無圧式) ・ チリングユニット	
		・ 吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット	
		・ パッケージ形空気調和機 ・ マルチパッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	
換気設備	・ 1種換気 ・ 2種換気 ○ 3種換気		
排煙設備	・ 機械排煙 (・ 有り ・ 無し) ・ 適用法規 (・ 建基法 ・ 消防法)		
自動制御設備	・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式)		

II 工事仕様

1. 共通事項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和7年版」(以下「標準図」という)による。
(2) 改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という)による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記事項

(1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○ 印を適用する。
○ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。
○ 印と ⊗ 印のある場合はともに適用する。

章	項 目	特 記 事 項
1	1. 適用基準等	・ 消防設備等の技術基準 全国消防長会中国支部編 (第8次改訂版) * 営繕工事写真撮影要領 (平成28年版) による 工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集 国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修
	2. 機材の品質等	本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、J I Sマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の1)～6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)～6)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6) 材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿 (最新版)」及び「同設備機材等評価名簿 (最新版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

章 項 目

3. 環境への配慮

官公署その他への届出手続等

電気保安技術者

現場事務所

工事用電力、水

発生材の処理

産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項 目	品 目	搬 出 場 所	距離 (K m)	D I D 区間 (有・無)	処分費 (有・無)	備 考 (再資源化の有無等)
特定建設資材	○コンクリート塊	※処分場は施工業者の判断による				有
	・ アスファルト塊					
	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					有
	・ 木材					
特別管理産業物	・ 石綿含有建材					
家電リサイクル法に基づく物	○家電リサイクル製品	※処分場は施工業者の判断による				
フロン排出抑制法に基づく物	・ フロンガス					
その他	○金属くず	※処分場は施工業者の判断による				
	○廃プラ	※処分場は施工業者の判断による				
	・ ガラスくず					

・ 石綿含有建材 (ガスカート、パッキン、たわみ継手等)は関係法令等に従い適切に処理する。
・ 撤去する石綿含有建材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有分析の要否を判定する。

9. 交通安全管理

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。
取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」(営繕課HP掲載)による

⑩. 工事写真

下記のものを提出する。
仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。

区 分	分 類	サイズ (mm)	提出部数
工事中写真 (着工前含)	* カラー	* 80×120 程度	2 部
	完成写真	* カラー 外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	部
電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		部

(注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。

章 項 目

11. 技能士の適用

完成図

保全に関する資料

情報共有システム

総合試運転調整

図形表示

電気容量及び機器能力表示

保温

技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。

下記のものや、竣工後15日以内に提出する。
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様		提出部数
複写図	* 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))	3 部
	* 施工図 (構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面) 製本サイズ (* A3縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))	部
* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)		1 部

製本の取りまとめについては監督職員の指示による。
設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、津和野町にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
・ 竣工図と施工図を1冊にまとめる。

書 類 名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による) 機器取扱説明書 機器性能試験成績書及び配管試験等記録 官公署届出等書類 (完了検査、検査済証を含む) 総合試運転調整測定表 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 2 部 ・ 部 * 1 部

「島根県営繕工事等情報共有システム実施要領」に基づき、情報共有システムを利用した場合は、情報共有システムで処理を行った書式一式を、工事完成時に電子媒体 (CD-R等) で納品することを基本として受発注者間協議により決定する。

装置全体の施工完了時に、下記の総合試運転調整を行う。
・ 風量調整
○ 水量調整
・ 室内外空気の湿温度の測定
・ 室内気流及びじんあいの測定
・ 騒音の測定
・ 飲料水の水質検査
・ 一般飲料水適否簡易検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく11項目)
・ 一般飲料水適否検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく16項目)
・ 水道法施行規則による水質検査
・ 雑用水の水質検査
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数は監督職員の指示による。

機器類は、図示する形状及び配管などの取り出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
型番変更等により参考型番が変更または廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

原則として、電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は図面に記載されている数値以下、機器類の能力及び容量等は表示された数値以上とする。

1) 給水管、給湯管、排水管の保温は下記の部分を除きグラスウール保温材とし、施工順序は標準仕様書による。
①暗渠内及び屋内外露出給水管の保温はポリスチレンフォーム保温材とする。
②多湿箇所及び屋内露出排水管の保温はポリスチレンフォーム保温材とする。
2) スラブ上転がし排水管 (耐火二層管を除く) はグラスウール保温材とし、保温厚が確保できない場合はグラスウール保温材同等の性能を有する製品を監督職員の承諾のうえ使用できる。
ただし、ユニット付属部は耐火二層管とする。
3) 一般ダクトの保温はグラスウール保温材とする。
4) 機器の保温はグラスウール保温材とする。
5) 冷媒管に断熱被覆鋼管を使用した場合の外装材は下記による。
屋内露出 ・ 保温化粧ケース (・ 樹脂製)
・ 合成樹脂カバー (ｼｰﾄﾀｲﾌﾟ ・ ﾞﾞｼﾞｬｸｴｯﾄﾀｲﾌﾟ)
屋外露出 ・ 保温化粧ケース (・ 樹脂製 ・ 溶融亜鉛めっき製 ・ ﾎﾟﾘﾔﾐﾄﾞﾍﾞｰﾄﾞ)
・ ステンレスラッキング (JIS G 4305)
6) 全熱交換ユニットより外気側のダクト
・ 断熱する ・ 断熱しない
7) 合成樹脂カバー (冷媒管以外の管)
・ 1 (シートタイプ) ・ 2 (ジャケットタイプ)

図面 No.

特記事項

令和8年度プライベートコテージ宙辺改修工事設計図

図名 特記仕様書 (1)

SCALE / / /

所 長

次 長

製 図

M-01

(有) 塩野建築設計事務所

出雲市今市町南本町 1154-3 TEL21-3450

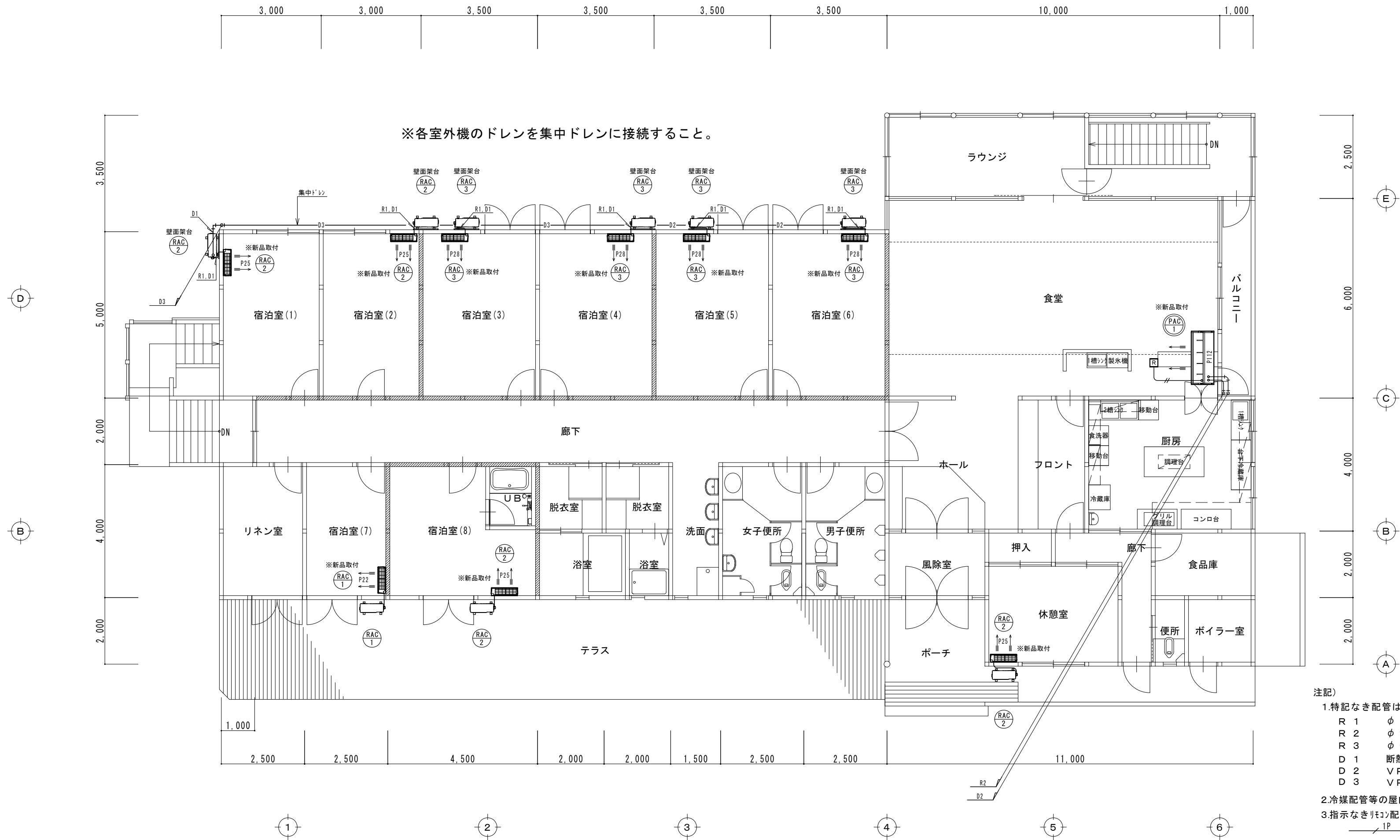
島根県知事登録第 10066 号
一級建築士登録第 202822 号

塩野裕士

制作年月日
・ ・ ・

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目	特 記 事 項		章 項 目	特 記 事 項		章 項 目	特 記 事 項																																																																					
	⑬. 塗 装	1) 下記の部分を除き、原則として塗装を行う。 下記の部分において塗装が必要な場合は図示による。 ①垂鉛めっきされたもので常時隠べいされる部分 ②垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 ③主、各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ④カラー垂鉛鉄板面 ⑤垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面 ⑥樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分 ⑦アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム―垂鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 ⑧埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） 2) 塗装を施さない部分、箇所 ・ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場 3) 防錆塗料については国土交通大臣特別評価方法認定品を使用してもよい。 4) 残りネジ部、及びパイブレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。			㉓. 他工事との 取り合い	1) 梁・壁・床貫通部の補強 補強 ① 本工事 ・ 別途建築工事 2) 天井開口（下地を含む）及び補強 開口 ① 本工事 ・ 別途建築工事 補強 ① 本工事 ・ 別途建築工事 3) 機器の基礎 ・ 本工事 （ 室外機 ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ） ・ 別途建築工事 （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ） 4) 二次側電源 ① 本工事 ・ 別途電気設備工事 5) 一次側電源 ① 別途電気設備工事 ・ 本工事 6) リモコン用配管 ① 別途電気設備工事 ・ 本工事 7) リモコン用配線 ① 本工事 ・ 別途電気設備工事 8) リモコン取付け ① 本工事 ・ 別途電気設備工事 9) その他 ・ 本工事 （ ）（ ） ・ 別途建築工事 （ ）（ ）			㉔. 土 工 事	1) 埋戻しの種別 ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 ① （材料：根切り土の中の良質土 工法：機器により締固め） 2) 建設発生土の処理 ① 構内指定場所に敷ならし ・ 構内指定場所に堆積 ・ 現場説明書による 3) 山留め 工法等（ ） 残置 ・ する * しない 鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充てんする ⑭. はつり工事等		3 給 水 設 備	①. 給 水 方 式 ②. 配 管 材 料 1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A） （JWWA K 1 1 6） ① 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（① H I V P ・ V P ） ・ 架橋ポリエチレン管（J I S K 6 7 6 9） ・ ポリブテン管（J I S K 6 7 7 8） ・ 給水用高密度ポリエチレン管 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V B） （JWWA K 1 1 6） 2) 中水配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V A） （JWWA K 1 1 6） ③. 土間配管用 ① 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（① H I V P ・ V P ） （J I S K 6 7 4 2） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-V D） （JWWA K 1 1 6） ・ 給水用高密度ポリエチレン管 ④. 屋外埋設用 ① 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（① H I V P ・ V P ） （J I S K 6 7 4 2） ・ 水道用ポリエチレン二層管（J I S K 6 7 6 2） ・ 給水用高密度ポリエチレン管 ※中水配管と上水配管が混在する建物では中水配管用にSGP-VAを用い、上水配管用にSGP-VBを用いる。 ⑤. 管の接合等																																																																			
	20. 耐 震 措 置	1) 設備機器の固定は、「建築設備耐震・施工指針（国土交通省 国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修） 2 0 1 4 年版」及び「（一般社団法人）日本エレベーター協会 発行の「昇降機耐震設計施工指針（日本建築設備昇降機センター 編集） 2 0 1 4 年版」による。 建築設備の設計用標準水平震度（K s） <table><tr><th>設置場所</th><th>建物の種別</th><th colspan="2">・ 特定の施設</th><th colspan="2">・ 一般の施設</th></tr><tr><th></th><th>機器種別</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="2">上層階</td><td>機 器</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td></tr><tr><td rowspan="2">屋上及び塔屋</td><td>水槽（タンク）類</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>防振支持の機器</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>水槽（タンク）類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td rowspan="4">地階及び1階</td><td>機 器</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td><td>0. 6</td><td>0. 4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>水槽（タンク）類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr></table> 注）上層階の定義は次による。 2～6階建ての場合は最上階、7～9階建ての場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階 2) 重要機器 ・ 水槽類（受水槽、高架水槽） ・ 給水ポンプ（加圧給水ポンプユニット、揚水ポンプ） ・ 消火設備機器（消火ポンプユニット、自動消火設備機器、パッケージ形消火設備機器） ・ 危険物貯蔵装置（オイルタンク、サービスタンク） ・ オイルポンプ ・ エアコン室外機（ルームエアコンは除く） ・ 3) 一般機器 重要機器以外のもので機器重量が1 k Nを超える機器 4) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 5) エレベーターの耐震クラス ・ S 1 4 ・ A 1 4 エレベーターの設計用標準水平震度（K s）は標準仕様書による。 6) 地域係数 ・ 0. 9 ・ 7) あと施工アンカーの引き抜き試験 対象機器は重要機器及び一般機器とする。 試験本数は対象機器1台につき、3本とする。 ただし、エアコン室外機は機器1台につき、1本とする。 試験箇所は監督職員の指示による。 試験方法は引張試験機による引張試験とする 確認強度は対象機器ごとのあと施工アンカー1本に作用する引抜き力以上とする （注）機器重量が1 k N以下の機器は使用するアンカーメーカーの強度試験資料を監督職員に提出し承諾をうけること。		設置場所	建物の種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設			機器種別			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5	屋上及び塔屋	水槽（タンク）類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	中間階	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	水槽（タンク）類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	地階及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	水槽（タンク）類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	㉓. 外壁との取り合い	1) 外壁と設備の取り合い部分（配管等の貫通部を含む）はシーリングを行う。 2) シーリング材は、外壁の種類に応じたものとする。 ㉔. 配 管 施 工		1) ねじ加工に際しては、ねじゲージを使用し、ねじの長さを調整する。 2) イオン化傾向の大きくなる異種管の接続には、絶縁継手を使用する。 1) ポンプ及び屋外設置機器、ビット内、多湿箇所のアンカーボルト、ナット類はステンレス製（S U S 3 0 4）、又は溶融亜鉛めっき仕上げ（H D Z T 4 9）とする。 2) 屋外及びビット内、多湿箇所の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製（S U S 3 0 4）、又は溶融亜鉛めっき仕上げ（H D Z T 4 9）とする。 3) 屋外及びビット内、多湿箇所に使用する鋼材類はステンレス製（S U S 3 0 4）、又は溶融亜鉛めっき仕上げ（H D Z T 4 9）とする。 26. 地中埋設機		1) 標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。 * 標準図（機材2）による。 27. 配管名等の 表示方法		1) 機器の運転操作要領及び取扱い上の留意事項をアクリル板（白地）に黒及び朱色の文字で書く。 2) 板の大きさ及び文章は監督職員の承諾を受ける。 28. 機器操作要領の 説明板		「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成2 1 年4月策定）」による。 ・ 本工事で設置する。 外部足場 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種 内部足場 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ① 建築工事設置の足場を利用		㉔. 施 工 調 査	①. 本工事の施工計画に先立ち事前調査を行う。 2) 事前調査後速やかに調査結果をまとめ監督職員に報告書を提出する。 3) 調査結果を考慮し施工計画書、施工図を作成する。 4) 下記の分析調査を行う。 ・ 塗膜塗料に含まれる有害物質 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 有害物質の種類 ・ P C B ・ 鉛 ・ クロム 採取場所（ ） 採取箇所数（ ） 39. 木製安全施設製品 （県産木材製品） * 工事用看板 （表示板1, 4 0 0 mm×5 0 0 mm用） 2台 * 工事用バリケード ・ 工事用標示板 （表示板1, 4 0 0 mm×1, 1 0 0 mm用） 1台 （注）取り扱いは平成2 5 年3月8日付當第9 4 5号による	
設置場所	建物の種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設																																																																												
	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																											
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																																											
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5																																																																											
屋上及び塔屋	水槽（タンク）類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																																											
	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																																											
中間階	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0																																																																											
	水槽（タンク）類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																																											
地階及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4																																																																											
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6																																																																											
	水槽（タンク）類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																																											
	21. 耐 震 施 工	1) 機器の耐震施工 ①エアコン室外機の転倒防止措置は図示による。 ②給湯設備機器の設置は「平成2 4 年国土交通省告示 第1 4 4 7号」による。 2) 横引き配管等は地震時の設計用水平震度及び設計用鉛直震度に応じた地震力に耐えるよう建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版によるS A種、A種又はB種耐震支持を行う。 ただし、次の場合を除く。 ①吊り長さが平均0. 2 m以下、または、4 0 A以下の配管（鋼管は2 0 A以下） ②吊り長さが平均0. 2 m以下、または、周長1. 0 m以下のダクト		2 衛 生 器 具 設 備	1. 多機能トイレ ②. 洋風大便器 ③. 小 便 器 ④. 洗面器、手洗器		1) 鳥根県ひとにやさしいまちづくり条例施設整備マニュアルによる。 2) リモコン等の配置はJ I S S 0 0 2 6による。 ①. リモコン ① 必要（① 電池式 ・ 自己発電式） ・ 不要 2) 洗浄方式 ・ 自動式（ ・ A C電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池） ・ リモコン ・ 手動式 ①. 据付方式 ① 壁掛型（低リップ） ・ 床置型 ②. 洗浄方式 ① 自動式（ ・ A C電源 ① 自己発電 ・ 乾電池） ・ 手動式 ①. 水栓方式 ① 自動式（ ・ A C電源 ① 自己発電 ・ 乾電池） ① 手動式（ ・ ハンドル式 ① レバー式）		6. 空 気 抜 き	⑦. 電 気 工 事	1) マンホールカバーは施錠する。 2) 電極棒取付材及び電極棒の取付は本工事とする。 3) フレキシブルジョイントは（ ・ ステンレス製 ・ 合成ゴム製）とする。 4) 屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2 K P a以上とする。 5) マンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形（二重蓋構造等）とする。 6) タンクから排水バルブまでの配管は給水設備に準ずる。 7) ドレン配管はタンク本体から支持する。 空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。 1) 電源供給は（ ・ 本工事 ① 別途電気工事） 2) 操作、制御回路は本工事とする。 （ ・ 一括警報用無電圧端子付とする）																																																																					
図 面 No.		特 記 事 項		令和8 年度 プライベートコテージ宙辺改修工事設計図		図 名 特記仕様書（2）		SCALE				所 長 次 長 製 図																																																																				
M-02		(有) 塩 野 建 築 設 計 事 務 所		出 雲 市 今 市 町 南 本 町 1 1 5 4 - 3 TEL21-3 4 5 0		島根県知事登録第 1 0 0 6 6 号 一級建築士登録第 2 0 2 8 2 2 号		塩 野 裕 士		制作年月日 ・ ・ ・																																																																						

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		
④ 排 水 設 備	①. 配 管 材 料	①. 屋内汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NET IS登録品） ②. 屋内雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NET IS登録品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） * 使用箇所は図記による。 3. 屋内通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（NET IS登録品） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 4. 屋外露出汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 032） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 5. 屋外露出雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 032） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 6. 屋外露出通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） ⑦. 屋外埋設汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ）（JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP－VU）（AS 58） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RS－VU）（JIS K 9797） ⑧. 屋外埋設雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ）（JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP－VU）（AS 58） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RS－VU）（JIS K 9797） 9. 建物から屋外第一樹まではVP管とする。 VP管を接続する場合はVP－VU変換ソケットを使用する。（建物から屋外第1樹までのVP管の接続は除く） ・ ベンドキャップ（VC：アルミ製） ・ 排水用通気（吸気）弁（樹脂製） 1）マンホール蓋は鎖付とする。 2）塗装はSHASE-S 209による。 3）マンホール用手かぎを1組納品する。 ・		③. 消火器ボックス 4. 保 温 5. 弁 の 耐 圧 6. 所轄消防署 ⑥ ①. 配 管 材 料 ①. 屋内一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ○ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） ②. コンクリート埋込 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ○ ポリエチレン被覆鋼管JIS G 3469） ③. 土中埋設 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS K 6774） ○ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） ○ ガス事業者貸与（配管はメーターユニオンまで本工事） ・ 買取 1）過流出安全装置付とする。 2）ゴムキャップ付とする。 3）ボックスコックは押回しカチットタイプとする。 1）配管には必要に応じ水抜装置を取付ける。 2）都市ガス工事はガス事業者の指定業者の施工とする。 3）実験用高圧ガスは請負者の責任施工とする。 4）ガス器具はガス事業者認定品（都市ガス）とする。 5）ガス器具は検定合格品（液化石油ガス）とする。 6）都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 ⑦ ① 配 管 材 料 ①. 給湯配管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－HVA）（JIS K 140） ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管（JIS G 3448） ○ 鋼管（JIS H 3300） ・ 被覆鋼管（JIS H 3300） ○ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） 2. 油配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） ②. 管の接合等 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。 ③. 電 気 工 事 1）電源供給 ○ 別途電気設備工事 ・ 本工事 2）操作、制御回路は本工事とする。（ ・ 一括警報用無電圧接点付とする ） 4. 弁 の 耐 圧 5. 空 気 抜 き ⑧ ①. 処理種別及び方式 ・ 小規模合併処理（ ・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式 ） ・ 合併処理（ ） ○ その他 （ ） ②. 人槽算定式 3. そ の 他		⑤ ①. 配 管 材 料 空 調 設 備 ・ 換 気 設 備 2. 管の接合等 3. フレキシブルジョイント 4. 空 気 抜 き ⑨. ダ ク ト 6. 吹出口、吸込口 7. 点 検 口 8. チャンバー 9. 予備フィルター 10. ばい煙測定口 ○. 屋外フード類		1. 給水 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）（JWWA K 116） ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 2. 冷温水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） （注）架橋ポリエチレン管及びポリブテン管はファンコイルユニット機器接続部のみに使用する。 ・ 空調配管用高性能ポリエチレン管（NET IS登録品） 3. 冷却水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（JIS G 3448） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）（JWWA K 116） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（PWA 005） 4. 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） 5. 油 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 6. 蒸気還管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370黒Sch40）（JIS G 3454） ⑦. 冷媒 ・ 冷媒用断熱材被覆鋼管（ポリエチレン保温材（難燃性））（JCDA 0009） ⑧. ドレン ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 9. 60Su以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Su以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。 1. 給水用高密度ポリエチレン管、空調配管用高性能ポリエチレン管を使用する場合の配管支持間隔は標準仕様書及びメーカー施工標準のうち短い方を適用する。 2. 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書によるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部においても適切に固定する。 ステンレス製ベローズ形とする。 空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。 1. 長方形ダクトの製作 ・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） ただし、長辺が1500mmを超えるもの及び、最大静圧が500Paを超えるものはアングル工法とする。 ②. 円形ダクト ・ 亜鉛鉄板製（スパイラルダクト） ・ 硬質塩化ビニル製（VU管） 3. 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。 1. 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 2. 着色 ・ する ・ しない サブライチャンパー、リターンチャンパー等には点検口（450×600）を取り付ける。 外壁に面するガラリに設けるチャンパーは有効なドレン装置を設置すること。 ・ 図示による。 ・ フィルター装着枚数の（ ・ 100% ・ %） ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ室内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取り付けること。 着色 ○ する ・ しない		12. 弁 の 耐 圧 13. 空調用流体の水質基準 ④. 高調波対策 10 自動制御設備 1. 自動制御方式 2. 中央監視装置 3. 電 源 装 置 4. 温度調節器等 5. 計装工事の配線 6. そ の 他 11 電 気 設 備 1. 配 線 材 料 2. 機器取付高 3. 再使用機器 4. 予 備 配 管		図示なき弁の耐圧は5kとする。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。 定格電流値が20Aを超える機器は高調波対策を施す。 図示による ・ 有り（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 無し（仕様は図示による） ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 不要 取付け高さは ・ 1300mm ・ 1. 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2. 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項19.電線類の規格による。（機器、盤類はこれによらずともよい） 用途 : ① 電源線、接地線 ② 電気式の調節器（サーモ、ヒューミ等）用电線 ③ 各種検出部（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線 図示による				
	⑤ 消 火 設 備	①. 消 火 機 器	② 消火器（蓄圧式） ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ スプリンクラー ・ パッケージ型消火器 ・ （仕様は図示による）		②. 浄化槽設備											
		2. 配 管 材 料	1) 隠ぺい、露出部分 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS K 3452） 2) 土中埋設 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP－VS）（WSP 041） ・ 消火設備配管用高性能ポリエチレン管（PLO60号） （注）性能認定品以外を使用する場合は消防法施行令第32条による申請を行う。													
図 面 No.		特 記 事 項		令和8年度プライベートコテージ宙辺改修工事設計図		図 名 特記仕様書（3）		SCALE		所 長		次 長		製 図		
M-03				(有)塩野建築設計事務所		出雲市今市町南本町1154-3 TEL21-3450		島根県知事登録第10066号 一級建築士登録第202822号		塩野裕士		制作年月日 ・ ・ ・				



注記)
1.特記なき配管は下記による
R 1 φ 6.3 5 + φ 9.5 2
R 2 φ 9.5 2 + φ 1 5.8 8
R 3 φ 6.3 5 + φ 1 2.7
D 1 断熱ドレン用ホースφ 1 6mm
D 2 VP 2 0 (屋内は結露防止層付き)
D 3 VP 2 5 (屋内は結露防止層付き)
2.冷媒配管等の屋内及び屋外露出部分は化粧カバーを使用すること。
3.指示なきリネン配線の線種は下記による。
1P EM-CPEE09mm-1P
4.室内外連絡線はすべてEM-EFF 2.0mm-3Cとする。
5.防火区画壁貫通部分は防火処理を施す
●●● 防火処理を表す。

機器表 (パッケージエアコン) ※新品 (支給品)

記 号	名 称	性 能	諸 元			数量	備 考
			電 源	電 気 仕 様	電 気 仕 様		
PAC 1	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：100 (43～112)	3φ200V	220A	246kw	1	ダイキン工業 【型式番：SZRH12C】 室内機：FHP112FB、室外機：RZRP112C リネン：BRC1G4
	天井吊形	暖房能力：112 (48～140)					
	ワイヤードリフト						
PAC 2	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：71 (20～80)	3φ200V	150A	171kw	1	ダイキン工業 【型式番：SZRC80CT】 室内機：FHCP80GB、室外機：RZRP80CT リネン：BYCP160EAF、リネン：BRC1G4
	天井吊形4方向吹出し	暖房能力：80 (20～102)					
	ワイヤードリフト						

機器表 (ルームエアコン) ※新品 (支給品)

記 号	名 称	性 能	諸 元	数量	備 考
RAC 1	ルームエアコン 壁掛形 P 2 2 形	冷房能力：2.2kW 暖房能力：2.2kW	電 源 1φ100V	1	ダイキン工業 【型式番：S226ATES-W】
RAC 2	ルームエアコン 壁掛形 P 2 5 形	冷房能力：2.5kW 暖房能力：2.8kW	電 源 1φ100V	4	ダイキン工業 【型式番：S256ATES-W】 壁面架台 (塗装)：K-KK5G～2組
RAC 3	ルームエアコン 壁掛形 P 2 8 形	冷房能力：2.8kW 暖房能力：3.6kW	電 源 1φ100V	5	ダイキン工業 【型式番：S286ATES-W】 壁面架台 (塗装)：K-KK5G～4組
RAC 4	ルームエアコン 壁掛形 P 3 6 形	冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.2kW	電 源 1φ100V	1	ダイキン工業 【型式番：S366ATES-W】 壁面架台 (塗装)：K-KK5G～1組

機器表 (ハウジングエアコン) ※新品 (支給品)

HAC 1	ハウジングエアコン 1方向天井カセット形 P 4 0 形	冷房能力：4.0kW 暖房能力：5.3kW	電 源 1φ200V	1	ダイキン工業 【型式番：S40ZCV】 室内機：F40ZCV、室外機：R40ZCV リネン：BC40J-WF、壁面架台 (塗装)：K-KK5G
	ハウジングエアコン 2方向天井カセット形 P 6 3 形	冷房能力：6.3kW 暖房能力：7.1kW	電 源 1φ200V	1	ダイキン工業 【型式番：S63ZCV】 室内機：F63ZCV、室外機：R63ZCV リネン：BC40J-WF、壁面架台 (塗装)：K-KK5G

機器表 (ルームエアコン) ※既存品取付

記 号	名 称	性 能	諸 元	数量	備 考
RAC 5	ルームエアコン 壁掛形 P 2 2 形	冷房能力：2.2kW 暖房能力：2.2kW	電 源 1φ100V	1	※既存品 メーカー：ヤマダ電機 YHA-S22R-W 製造年：2025年

[illegible]

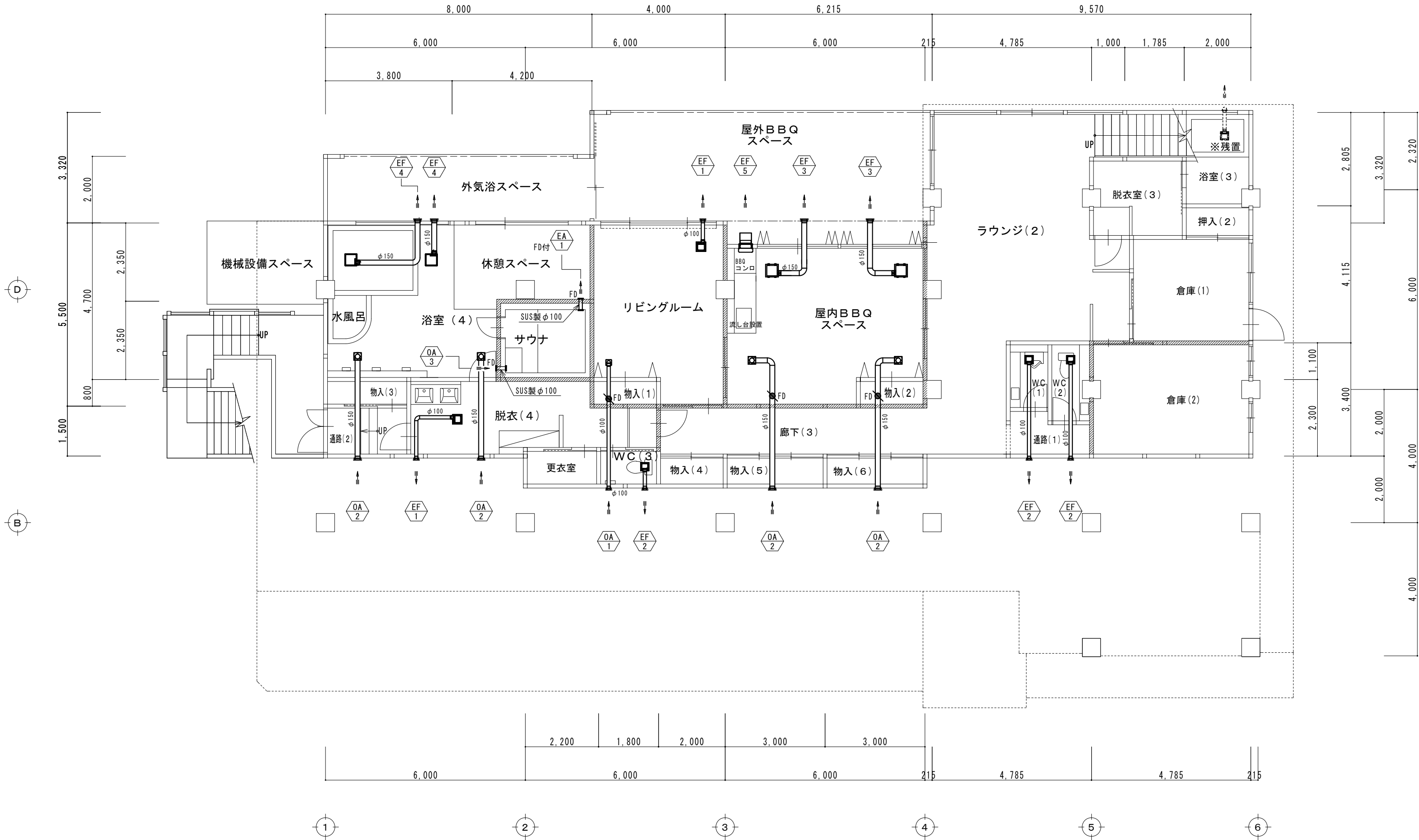
改修後地下1階平面図 S=1:100

記 号	名 称	性 能 諸 元	数量	備 考
	ルームエアコン	冷房能力：2.2kW 電 源	1	ダイキン工業 【※t品番：S226ATES-W】
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.2kW 1φ100V		
	ルームエアコン	冷房能力：2.5kW 電 源	4	ダイキン工業 【※t品番：S256ATES-W】
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：2.8kW 1φ100V		壁面架台(塗装)：K-KK5G～2組
	ルームエアコン	冷房能力：2.8kW 電 源	5	ダイキン工業 【※t品番：S286ATES-W】
	壁掛形 P 2 8 形	暖房能力：3.6kW 1φ100V		壁面架台(塗装)：K-KK5G～4組
	ルームエアコン	冷房能力：3.6kW 電 源	1	ダイキン工業 【※t品番：S366ATES-W】
	壁掛形 P 3 6 形	暖房能力：4.2kW 1φ100V		壁面架台(塗装)：K-KK5G～1組

機器表 (ハウジングエアコン)		※新品 (支給品)		
	ハウジングエアコン	冷房能力：4.0kW	電 源	1
	1方向天井カセット形 P 4 0 形	暖房能力：5.3kW	1φ200V	
	ハウジングエアコン	冷房能力：6.3kW	電 源	1
	2方向天井カセット形 P 6 3 形	暖房能力：7.1kW	1φ200V	

記 号	名 称	性 能 諸 元	数量	備 考
	ルームエアコン	冷房能力：2.2kW 電 源	1	※既存品 メーカー：ヤマダ電機 製造年：2025年
	壁掛形 P22形	暖房能力：2.2kW 1φ100V		

図 面 No.	特 記 事 項	令和8年度プライベートコテージ宙辺改修 工事設計図	図 名 空調設備改修図 地下1階	SCALE 1/100	所 長	次 長	製 図
M-05		(有) 塩 野 建 築 設 計 事 務 所	出雲市今市町南本町 1154-3 TEL21-3450	島根県知事登録第 10066 号 一級建築士登録第 202822 号 塩 野 裕 士	制作年月日 ● ● ●		



改修後地下1階平面図 S=1:100

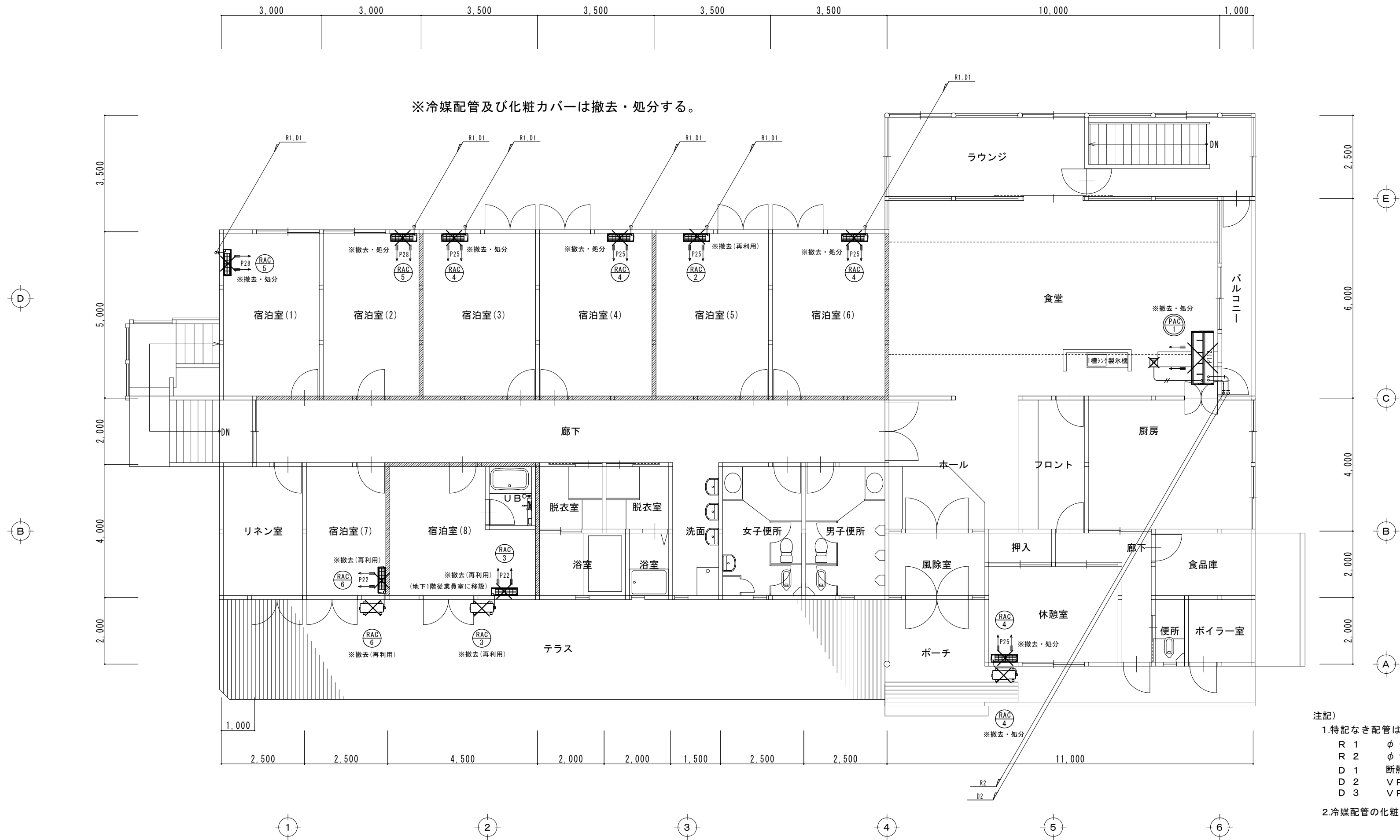
機器表（換気）

照会番号	名 称	台数	電 源	消費電力	機器排気 風量	有効 換気量	ﾀﾞｸﾄ寸法	参 考 品 番	備 考
EF-1	天井埋込換気扇	2	1φ100V	強 15.5	130		φ 100	VD-13ZLC14-S	ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ : P-13YSM3-BL
				弱 5.5	65				
EF-2	天井埋込換気扇	3	1φ100V	9.3	95		φ 100	VD-10ZC14	ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ : P-13YSM3-BL
EF-3	天井埋込換気扇	2	1φ100V	強 64.5	500		φ 150	VD-20ZLXP14-CS	ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ : P-18YSM3-BL
				弱 22.0	270				
EF-4	天井埋込換気扇	2	1φ100V	26	310		φ 150	VD-18ZC14-IN	ｸﾞﾘﾙ : P-315GB3-J ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ : P-18YSM3-BL
EF-5	厨房用有圧換気扇 (壁付)	1	1φ100V	強 66	1720			EFC-30MSB2	木枠 : PS-30FW3 (不燃枠) ｴｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ : W-30TBM (防虫網付)
				弱 55	1050				

注記

- 換気設備の配管はスパイラルダクト(厚0.5mm)を使用し、機器部分はアルミ製フレキとする。
- 防火区画壁貫通部分は貫通部の不燃処理(隙間処理)を行うこと。(ロックウール充填・防火区画用認定シーラント充填等、国交省認定工法による。)
- FD は防火ダンパーを表し、防火区画を貫通する1m以内に設置する。

照会番号	名 称	台数	電 源	消費電力	機器排気 風量	有効 換気量	ﾀﾞｸﾄ寸法	参 考 品 番	備 考
OA-1	給気グリル	1	—	有効開口面積	最大101(cm2)		φ 100	P-13GEF	ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ : P-13YSM3-BL
OA-2	給気グリル	4	—	有効開口面積	最大171(cm2)		φ 150	P-18GL6	ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ : P-18YSM3-BL
OA-3	サウナ給気口	2	—				φ 100 (SUS製)	SL 100 (西邦工業)	ﾌﾙﾚｯｼﾞｽﾀｰ: φ100(浴室側・ｻｳﾅ側共)
EA-1	サウナ排気口	1	—				φ 100 (SUS製)	SLD 100 (西邦工業)	ﾌﾙﾚｯｼﾞｽﾀｰ: φ100,FD(180℃)(浴室側) ※ｻｳﾅ側別途工事



注記)
1.特記なき配管は下記による
R 1 φ 6.3 5 + φ 9.5 2
R 2 φ 9.5 2 + φ 1 5.8 8
D 1 断熱ドレン用ホースφ 1 6mm
D 2 VP 2 0 (ライトカバー t 1 0)
D 3 VP 2 5 (ライトカバー t 1 0)
2.冷媒配管の化粧カバーは撤去・処分とする。

1階平面図 S=1:100

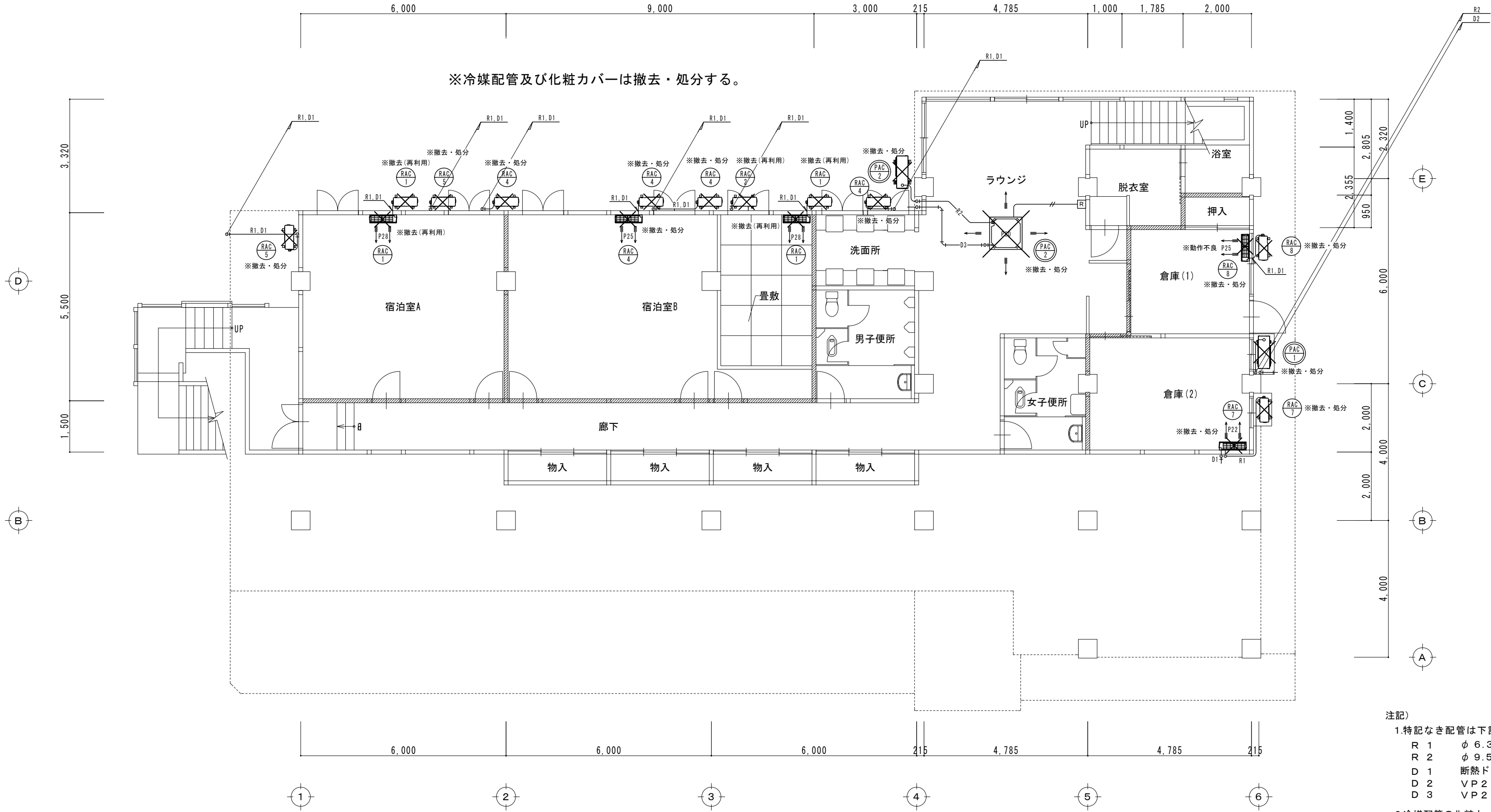
機器表（パッケージエアコン）

※更新するパッケージエアコンは撤去し・処分とする。
※撤去したパッケージエアコンの冷媒ガスは回収し、破壊処分する。

記 号	名 称	性 能 諸 元			数量	備 考
PAC 1	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：100（43～112）	電 気 仕 様		1	※既存品（処分）
	天井吊形	暖房能力：112（48～140）	電 源	最大電流 容 量		PGZ-ERMP112KLY
	ワイヤードリレコン	3φ200V	220A	246kw		メーカー：三菱電機製 製造年：2020年06月
PAC 2	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：71（20～80）	電 気 仕 様		1	※既存品（処分）
	天井ワイヤードリレコン4方向吹出し型	暖房能力：80（20～102）	電 源	最大電流 容 量		PLZ-ERMP80EEY
	ワイヤードリレコン	3φ200V	150A	171kw		メーカー：三菱電機製 製造年：2021年02月

機器表（ルームエアコン）				※撤去したRAC-1、RAC-2、RAC-6の4台は津和野町へ引き渡しとする。 ※RAC-3は地下1階の倉庫（1）に再取付とする。 ※その他、撤去したルームエアコンはすべて家電リサイクル処分とする。			
記 号	名 称	性 能 諸 元		数量	備 考		
RAC 1	ルームエアコン	冷房能力：28kW	電 源	2	※既存品（引き渡し）	メーカー：日立	
	壁掛形 P 2 8 形	暖房能力：3.6kW	1φ100V		RAS-AJ28L(W)	製造年：2021年	
RAC 2	ルームエアコン	冷房能力：25kW	電 源	1	※既存品（引き渡し）	メーカー：パナソニック	
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：2.8kW	1φ100V		CS-2550F-W	製造年：2021年	
RAC 3	ルームエアコン	冷房能力：22kW	電 源	1	※既存品（移設）	メーカー：ヤマダ電機	
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.2kW	1φ100V		YHA-S22R-W	製造年：2025年	
RAC 4	ルームエアコン	冷房能力：25kW	電 源	5	※既存品（処分）	メーカー：パナソニック	
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：2.8kW	1φ100V		CS-2510FR-W	製造年：2011年	
RAC 5	ルームエアコン	冷房能力：28kW	電 源	2	※既存品（処分）	メーカー：三菱電機	
	壁掛形 P 2 8 形	暖房能力：3.2kW	1φ100V		MSZ-AXV280-W	製造年：2010年	

記 号	名 称	性 能 諸 元		数量	備 考		
RAC 6	ルームエアコン	冷房能力：22kW	電 源	1	※既存品（引き渡し）	メーカー：三菱電機	
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.2kW	1φ100V		MSZ-GV2219-W	製造年：2020年	
RAC 7	ルームエアコン	冷房能力：22kW	電 源	1	※既存品（処分）	メーカー：三菱電機	
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.5kW	1φ100V		MSZ-GV225-W	製造年：2015年	
RAC 8	ルームエアコン ※動作不良品	冷房能力：25kW	電 源	1	※既存品（処分）	メーカー：三菱重工	
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：3.6kW	1φ100V		SRK259R-W	製造年：2007年	



注記)

1.特記なき配管は下記による

R 1 φ 6.3 5 + φ 9.5 2

R 2 φ 9.5 2 + φ 1 5.8 8

D 1 断熱ドレン用ホースφ 1 6mm

D 2 VP 2 0(ライトカバー t 1 0)

D 3 VP 2 5(ライトカバー t 1 0)

2.冷媒配管の化粧カバーは撤去・処分とする。

地下1階平面図 S=1:100

機器表（パッケージエアコン）

※更新するパッケージエアコンは撤去し・処分とする。
※撤去したパッケージエアコンの冷媒ガスは回収し、破壊処分する。

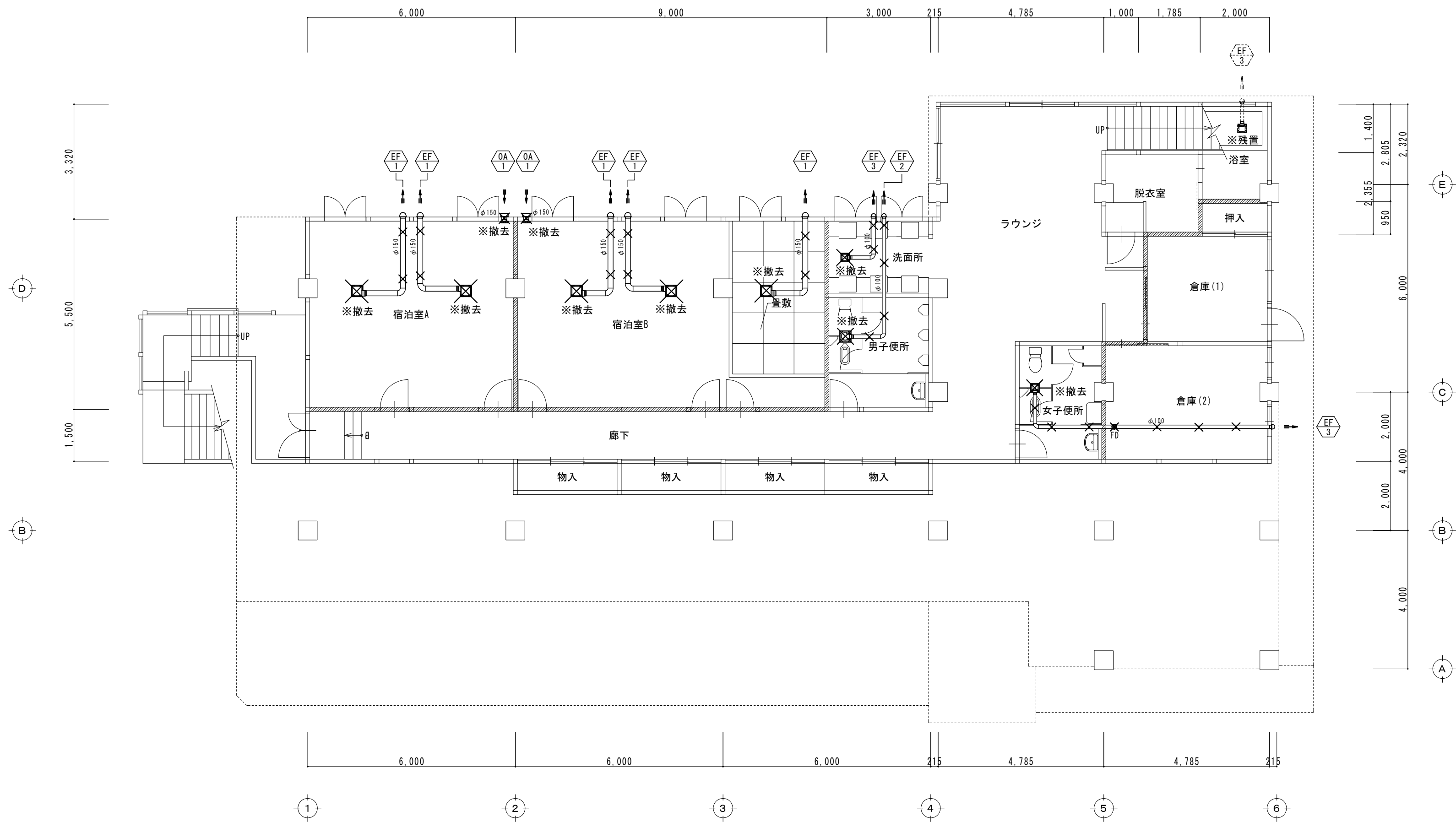
記 号	名 称	性 能 諸 元	数 量	備 考
RAC 1	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：100（43～112）	1	※既存品（処分） PGZ-ERMP112KLY メーカー：三菱電機製 製造年：2020年06月
	天井吊形	暖房能力：112（48～140）		
	ワイヤードレイン	3φ200V 220A 246kw		
RAC 2	空冷ヒートポンプ式	冷房能力：71（20～80）	1	※既存品（処分） PLZ-ERMP80EEY メーカー：三菱電機製 製造年：2021年02月
	天井ワイヤードレイン4方向吹出し型	暖房能力：80（20～102）		
	ワイヤードレイン	3φ200V 150A 171kw		

機器表（ルームエアコン）

※撤去したRAC-1、RAC-2、RAC-6の4台は津和野町へ引き渡しとする。
※RAC-3は地下1階の倉庫（1）に再取付とする。
※その他、撤去したルームエアコンはすべて家電リサイクル処分とする。

記 号	名 称	性 能 諸 元	数 量	備 考
RAC 1	ルームエアコン	冷房能力：28kW 電 源	2	※既存品（引き渡し） メーカー：日立 RAS-AJ28L(W) 製造年：2021年
	壁掛形 P 2 8 形	暖房能力：3.6kW 1φ100V		
RAC 2	ルームエアコン	冷房能力：25kW 電 源	1	※既存品（引き渡し） メーカー：パナソニック CS-2550F-W 製造年：2021年
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：2.8kW 1φ100V		
RAC 3	ルームエアコン	冷房能力：22kW 電 源	1	※既存品（移設） メーカー：ヤマダ電機 YHA-S22R-W 製造年：2025年
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.2kW 1φ100V		
RAC 4	ルームエアコン	冷房能力：25kW 電 源	5	※既存品（処分） メーカー：パナソニック CS-2510FR-W 製造年：2011年
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：2.8kW 1φ100V		
RAC 5	ルームエアコン	冷房能力：28kW 電 源	2	※既存品（処分） メーカー：三菱電機 MSZ-AXV280-W 製造年：2010年
	壁掛形 P 2 8 形	暖房能力：3.2kW 1φ100V		

記 号	名 称	性 能 諸 元	数 量	備 考
RAC 6	ルームエアコン	冷房能力：22kW 電 源	1	※既存品（引き渡し） メーカー：三菱電機 MSZ-GV2219-W 製造年：2020年
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.2kW 1φ100V		
RAC 7	ルームエアコン	冷房能力：22kW 電 源	1	※既存品（処分） メーカー：三菱電機 MSZ-GV225-W 製造年：2015年
	壁掛形 P 2 2 形	暖房能力：2.5kW 1φ100V		
RAC 8	ルームエアコン ※動作不良品	冷房能力：25kW 電 源	1	※既存品（処分） メーカー：三菱重工 SRK259R-W 製造年：2007年
	壁掛形 P 2 5 形	暖房能力：3.6kW 1φ100V		



地下1階平面図 S=1:100

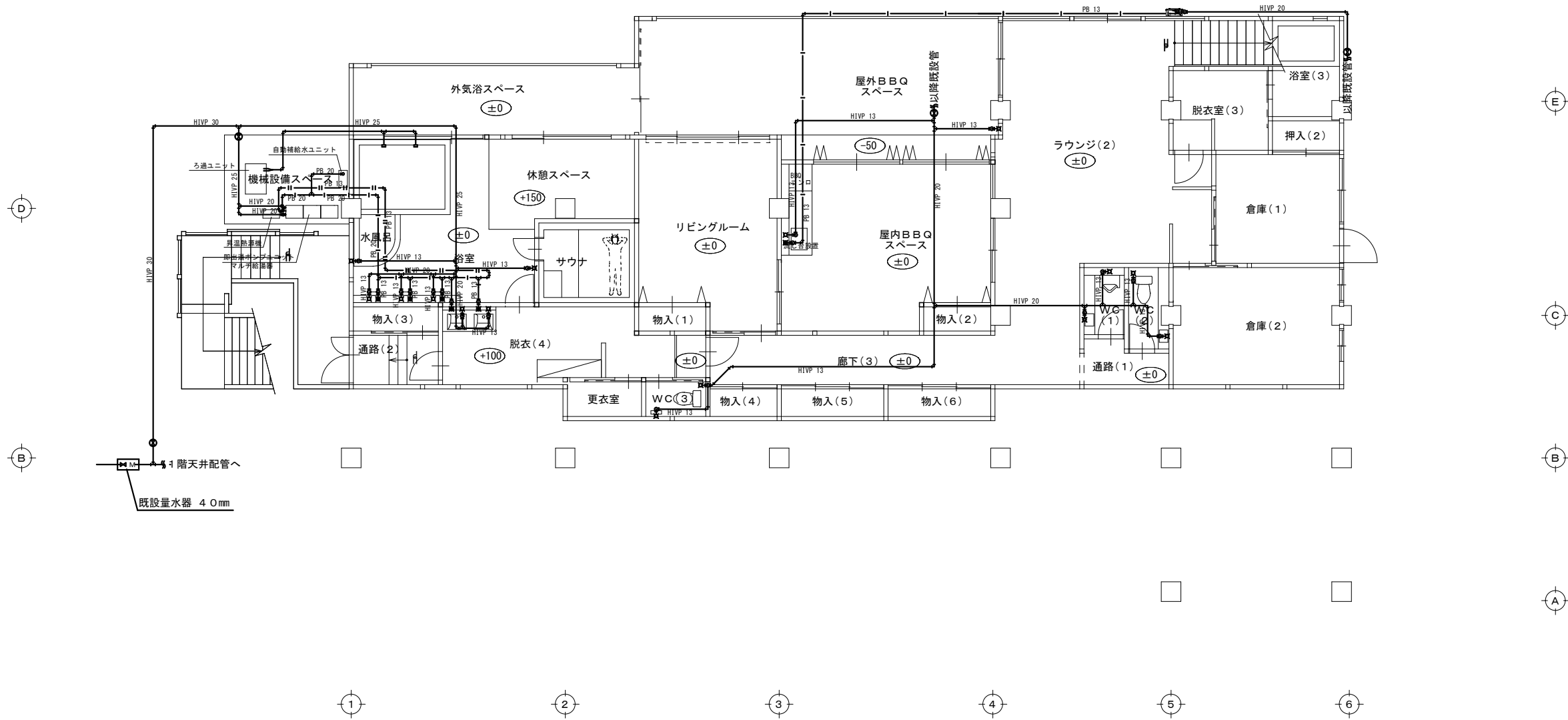
既設

機器表（換気） ※撤去した換気設備は処分する。

照会番号	名 称	品 番	台数	電 源	消費電力	換気風量 (m ³ /h)		ダクト寸法	備 考
						圧力損失	有効換気量		
EF-1	天井埋込換気扇	VD-18ZX2-W	5	100V	21W		270	φ150	7-ﾄﾞ: P-18FS2-BR
EF-2	天井埋込換気扇	VD-15ZPC-1	1	100V	26W		204	φ100	7-ﾄﾞ: P-13FS2-BR
EF-3	天井埋込換気扇	VD-10Z3	3	100V	95W		85	φ100	7-ﾄﾞ: P-13FS2-BR
OA-1	自然給気口(壁)	AT-150QSU	2	有効開口面積 最大77 (cm ²)				φ150	7-ﾄﾞ: AT-150KMGS

注記) 換気扇設備

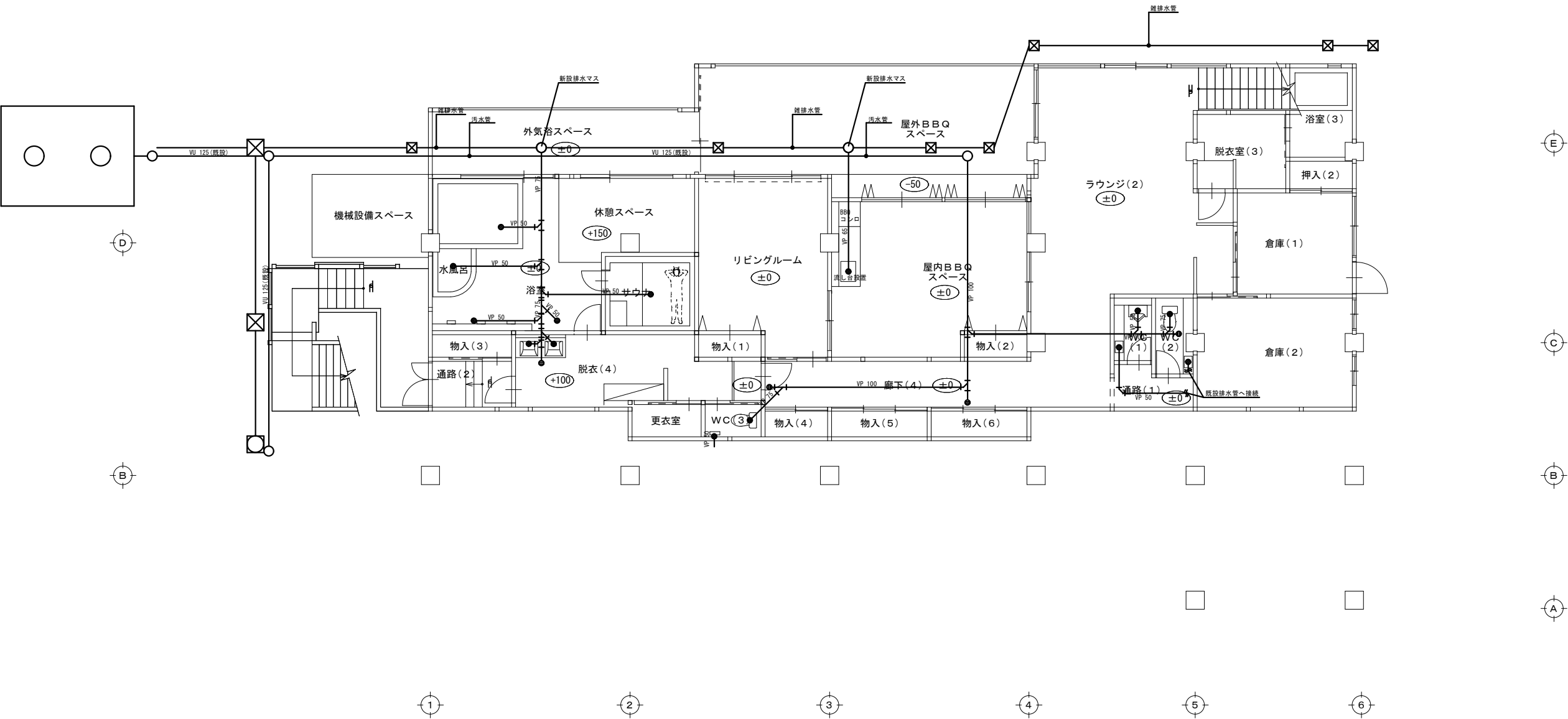
1.一般排気型換気扇の配管は、スパイラルダクトを使用し、
機器接続部はアルミ製フレキとする。



改修後地下1階平面図 S=1:100

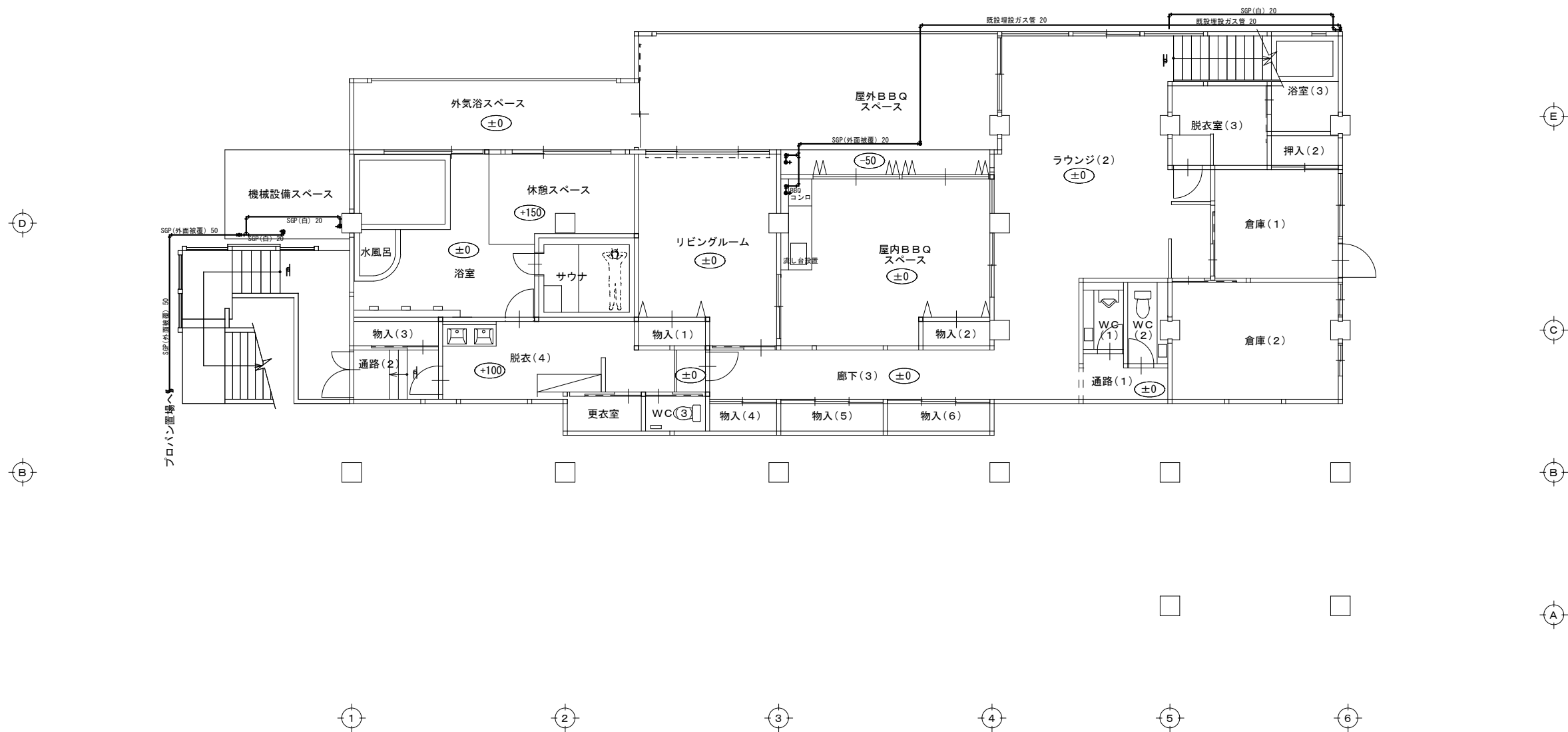
図面 No.	特記事項	令和8年度プライベートコテージ宙辺改修工事設計図	図名 給水・給湯設備改修図 地下1階	SCALE 1/100	所長	次長	製図
M-10		(有) 塩野建築設計事務所	出雲市今市町南本町 1154-3 TEL21-3450	島根県知事登録第 10086 号 一級建築士登録第 202822 号	塩野裕士	制作年月日 ● ● ●	

☒・・・既存タメマスを示す



改修後地下1階平面図 S=1:100

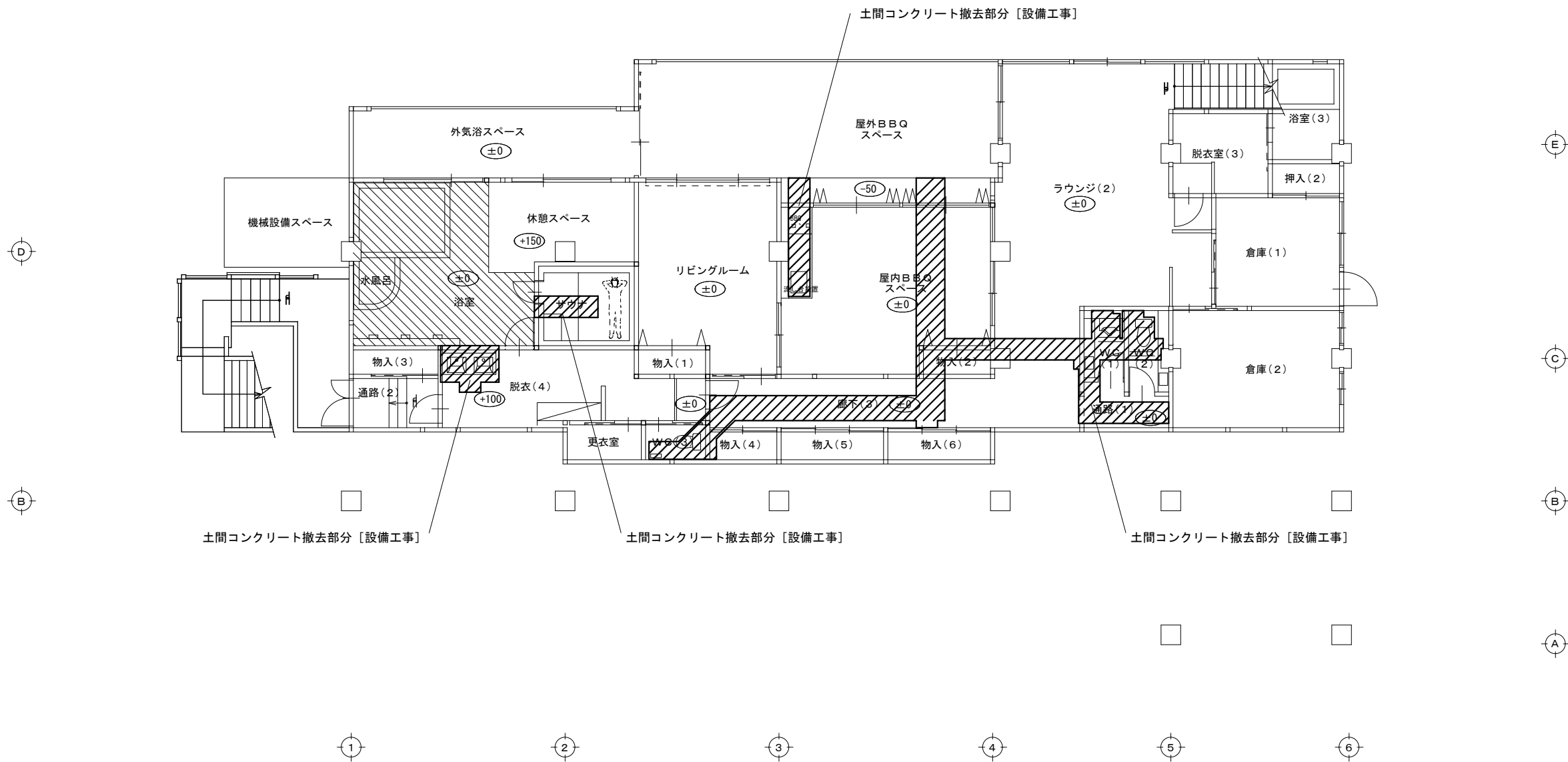
図 面 No.	特 記 事 項	令和 8 年度プライベートコテージ宙辺改修 工事設計図			図 名 汚水・雑排水設備改修図 地下1階			SCALE 1 / 100 / /			所 長	次 長	製 図
M-11		(有) 塩 野 建 築 設 計 事 務 所			出雲市今市町南本町 1154-3 TEL21-3450			島根県知事登録第 10066 号 一級建築士登録第 202822 号 塩 野 裕 士					制作年月日 ● ● ●



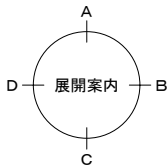
※ガスボンベ庫は現地にて打合せの上、場所の選定を行う
ガスボンベ庫 (W=2,000×L=2,465×H=2,130)
20本収納用

改修後地下1階平面図 S=1:100

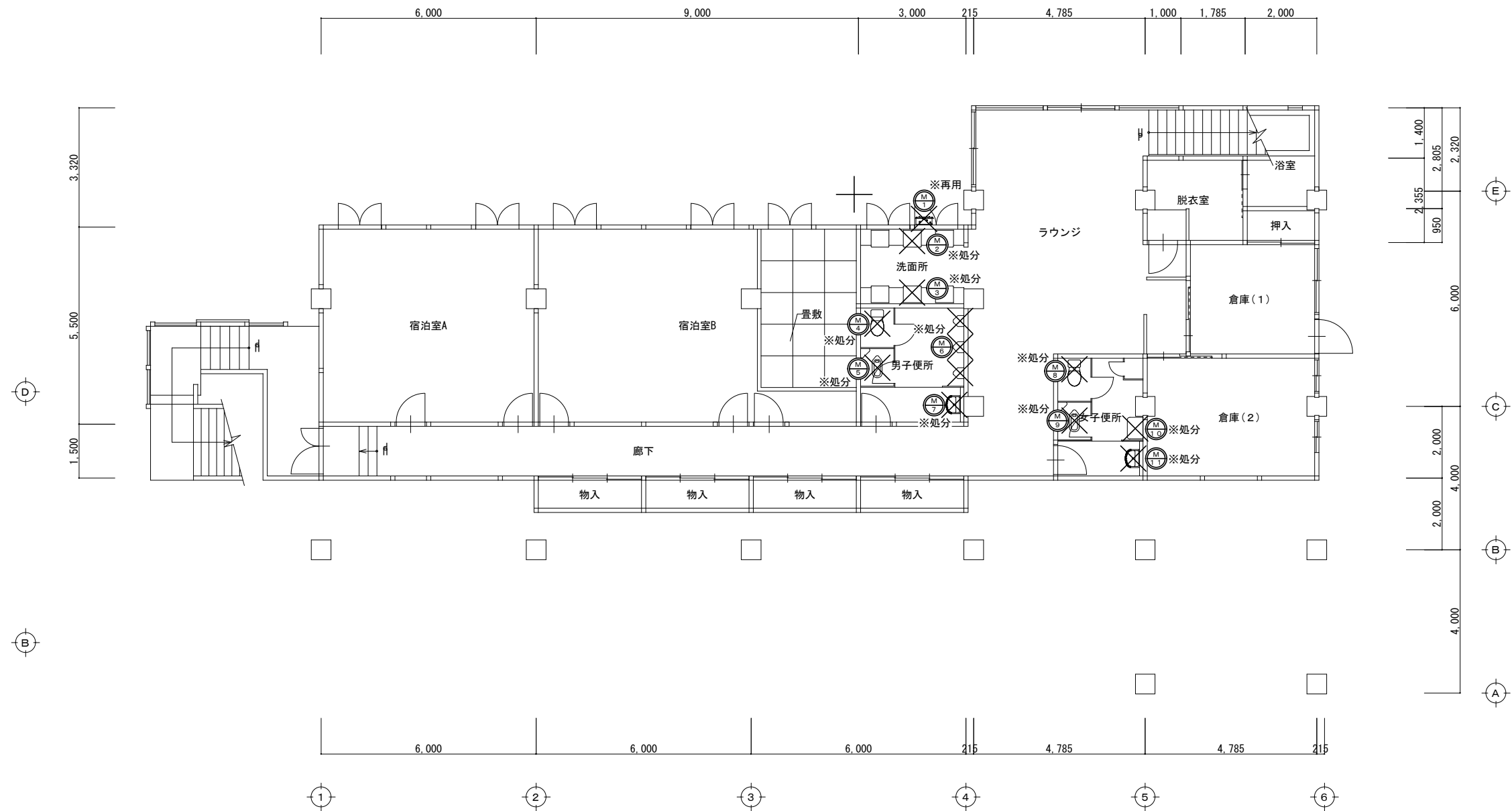
図面 No.	特記事項	令和8年度プライベートコテージ宙辺改修工事設計図	図名	ガス設備改修図 地下1階	SCALE	1/100	所長	次長	製図
M-12		(有) 塩野建築設計事務所	出雲市今市町南本町 1154-3 TEL21-3450	島根県知事登録第 10066 号 一級建築士登録第 202822 号	塩野裕士	制作年月日 ● ● ●			



改修後地下1階平面図 S=1:100



図面 No.	特記事項	令和8年度プライベートコテージ宙辺改修工事設計図	図名 給水・給湯・排水設備コンクリートハツリ図 地下1階	SCALE 1/100	所長	次長	製図
M-13		(有) 塩野建築設計事務所	出雲市今市町南本町 1154-3 TEL21-3450	島根県知事登録第 10066 号 一級建築士登録第 202822 号	塩野裕士	制作年月日 ● ● ●	



地下1階平面図 S=1:100

取付場所	外 部		
記 号	撤 去 機 器	数 量	備 考
M-1	ガス給湯器 (24号)	1	

※給湯器は屋内BBQスペース流し台給湯へ再使用とする。

取付場所	洗 面 所		
記 号	撤 去 機 器	数 量	備 考
M-2	カウンター式洗面器	1	洗面器 3 組
M-3	カウンター式洗面器	1	洗面器 3 組

取付場所	男 子 便 所		
記 号	撤 去 機 器	数 量	備 考
M-4	洋風大便器	1	
M-5	和風大便器	1	
M-6	小 便 器	3	
M-7	手 洗 器	1	

取付場所	女 子 便 所		
記 号	撤 去 機 器	数 量	備 考
M-8	洋風大便器	1	
M-9	和風大便器	1	
M-10	掃 除 流 し	1	
M-11	手 洗 器	1	

衛 生 器 具 表					
設 置 場 所	品 名	仕様・型式・寸法	数 量	備 考	
W C (1)	壁 掛 小 便 器 (発電自動)	U F S 9 0 0 W R	1		※支給品
	置 型 手 洗 器 (自動水栓)	2 6 4 - 0 0 1 R V - M D 、 7 1 3 - 3 7 5 A - M D	1	マットブラック	※支給品
	化粧鏡(耐食製)	Y M 3 5 4 5 A	1		※支給品
W C (2)	洋 風 大 便 器	サティス G : G 6 Y B C - G 3 0 S ・ D V - G 3 1 6	1	ノーブルブラック	※支給品
	置 型 手 洗 器 (自動水栓)	2 6 4 - 0 0 1 R V - M D 、 7 1 3 - 3 7 5 A - M D	1	マットブラック	※支給品
	カウンター下 紙巻器	Y H 4 0 2 ・ Y H 4 0 2 P	1		※支給品
	化粧鏡(耐食製)	Y M 3 5 4 5 A	1		※支給品
	擬 音 装 置	K S - 6 2 3	1		※支給品
W C (3)	洋 風 大 便 器	サティス G : G 6 Y B C - G 3 0 S ・ D V - G 3 1 6	1	ノーブルブラック	※支給品
	埋 込 手 洗 器 (自動水栓)	U L D 2 6 L 1 W W G N N N N N	1		※支給品
	棚 付 紙 巻 器 (ワイド棚)	F K F - A E 3 7 W	1	マットブラック	※支給品
	擬 音 装 置	K S - 6 2 3	1		※支給品
脱 衣 (4)	マーブライト カウンター	M B 6 0 L 1 5 0 0 C G N 6 2 W	1		※支給品
	化 粧 鏡	建築工事	1		
浴 室	自閉式壁付 サーモ混合水栓	T M F 4 9 A Y 1	3		※支給品
	スライドバー	T B W 0 7 0 1 9 J	3		※支給品
	化粧鏡(耐食製)	Y M 3 5 4 5 A	3		※支給品
	横 自 在 水 栓	T 1 3 0 A U N 1 3	1		※支給品
	万能ホーム水栓	T 2 0 0 S N R 1 3	1		※支給品
屋内 B B Q スペース	流 し 台	建築工事	1		
	シングルレバー 混合水栓	T S K 0 5 3 1 4 J	1		※支給品
屋外 B B Q スペース	万能ホーム水栓	T 2 0 0 S N R 1 3	1		※支給品

外 部	ろ 過 設 備	R A F - 4 5 N C / 5 0	1		
	給湯・ろ過用機器	G Q - C 5 0 4 2 W X (2 台)	1		
	ろ過用昇温熱源機	G H - C 2 3 1 0 W Z	1		